

さいせき函館20140324号 別紙報告

第2回建設資材対策北海道地方連絡会（平成26年02月27日開催）…毛利事務局長意見交換

1 平成25年度 骨材需給状況について

平成25年度は、補正予算、本年度予算で公共事業予算は大幅に増額した。砕石業者は例年、翌年度の事業量等を勘案し在庫量、新年度の生産量を計画している。25年度は、公共事業、民間需要（消費税問題もある）に対応すべく各社が対応してきたが、結果として供給しきれなかった面もあると感じている。

- ・各社は、在庫量、生産見込み量を推移し年間出荷見込み量を立てている。

供給を望まれる建設工事業者の皆さんの要望に応えることが出来なかった向きもある。

特に、

- ・生コンクリート用骨材（20～05）の供給に苦慮した。
- ・生コンクリート用骨材の砂不足に起因し砕砂の供給にも苦慮した。

2 平成26年度 骨材需要見込み

平成26年度予算は、当年度予算に前年度の補正予算の繰越を含めると、平成25年度予算と同程度になるものと考えており、事業量的には今年度と変わりはないように考えているが、消費税がアップすることで民間需要の変化がどうなるかの把握が難しい。砕石の需要量は新年度も今年度と同様の需要となることを想定している。理由は、

- ・補正予算は景気対策のきらいがあるが、建設業界としては安定した当年度予算の見通しがなければ施設整備や要員増に踏み切れない現実がある。政府の経済対策に呼応して設備投資や賃金引上げについての取組要請はあるが先行投資はまだ困難ではないかと考える。
- ・骨材価格は値上がり傾向にあるが、値上げの要因は原油の高止まり、円安の影響、電気料金の値上がり等から、生産コストがアップしたことに起因した値上であり、価格を上げたから骨材が安定的に供給できる仕組みにはなっていない。
- ・これまで建設業者等の工事受注者が骨材の買受にきているが、競争入札参加に際して骨材の確保が出来るかどうかを確認する必要がある場合が出てくるものと思われる。
- ・砕石は採石法に基づき認可申請した上で採掘している。認可申請は3年、5年先の需要を見込み（経済対策等）継続認可申請を行っている。公共事業の先行きが不明な状況下では安易に増産計画を立てることが出来ない。

3月19日北海道地方本部と北海道森林管理局との打合せについて

①北海道森林管理局から林道と木材生産を担当する課長が協会へきて平成26年度の骨材需要について説明にきました。林道等の工事入札で砕石等の供給依頼が目的です。

檜山森林管理署では林道工事で2,946 m³、木材生産で900 m³、渡島森林管理署で林道工事では1,380 m³、木材生産で1,200 m³最低使用するそうです。是非、請負業者が砕石（サイズ0～80mm）の買受があった場合供給してほしいとの要請でした。

②森林管理署が入札する場合の砕石価格については、

これまで積算に使用していた開発局のゾーン価格から、林道工事については工事個所周辺の砕石業者等から砕石等の土場渡し価格、土場からの工事現場までの運搬経費の見積もりを徴取し予定価格とすることに変更したようです。

請負業者が砕石の買受に来た場合の砕石売払い価格の参考にして下さい。

事務局からの連絡（今後の行事予定）

理事会	4月16日（水）午後2時～	協会事務所
総会（組合）	5月15日（木）午後4時～	ホテル法華クラブ
（協会）	5月15日（木）午後5時～	〃
懇親会	5月15日（木）午後6時30分	割烹 あべ
道本部総会	5月22日（木）午後3時30分	札幌東急イン